

令和元年度 第3回生駒市行政経営会議

案件1 令和2年度予算編成方針について（財政経営課）

〈概要〉

令和2年度予算編成方針を定めた。主なポイントは以下のとおり。

歳入について

- ・一般財源全体額は、地方消費税の影響や地方交付税の増を見込んでいることから265.5億円、元年度と比較し4.4億円の増と試算した。

歳出について

- ・一般行政経費（經常分）に充当できる一般財源を131.7億円と試算している。
- ・一般行政経費（經常分）にシーリングは設けないものの、令和元年度に実施された幼児教育及び保育の無償化の影響により引き続き増加が見込まれる社会保障関係費については、平成30年度決算をベースに積算するなど、厳しい一般財源収入額に対応する。
- ・一般財源を、一般行政経費（臨時分）に8.0億円、投資的経費に7.3億円留保しているが、要求額全てを予算化することは難しく、今後、各部に優先順位付けを行ってもらうなど協力を依頼することとなる。

枠配分・査定方針等について

- ・一般行政経費（經常分）においては、一般財源による枠配分予算編成を全ての部において実施する。
- ・査定は原則一件査定とし、一般行政経費（經常分）については、予算編成方針の留意事項が守られていないもの、新規のもの、その他特に理由のあるものを中心に行う。
- ・一般行政経費（臨時分）及び投資的経費については、事業効果、必要性、優先順位、積算根拠等により査定を行う。
- ・予算要求書の提出期限は一般行政経費、投資的経費とも11月8日（金）とする。

〈会議での結論〉

了承

【主な意見】

- ・新規・主要事業ヒアリングの日程によっては、採否が不明な事業が出てくると想定できるが、そのときの対応は。  
→採否が不明な事業については、要求もれがないよう一旦予算要求をしていただき、予算査定の中で対応していく。
- ・予算要求書の提出期限を一般行政経費と投資的経費を同日にした理由は。  
→これまで投資的経費の締切を11月末にしていたことから、12月末までに実施する担当者ヒアリング、総務部長査定の準備や調整に相当苦慮していた。このことを解消するため、各部には負担を掛けることとなるがご協力を願うもの。
- ・平成30年度決算を踏まえた予算要求をお願いします。